



常に快適に使えるパソコンの

メンテナンステクニック・(4)

デフラグの実行テクニックについて

ハードディスク(HDD)の内部に保存されたファイルを整理

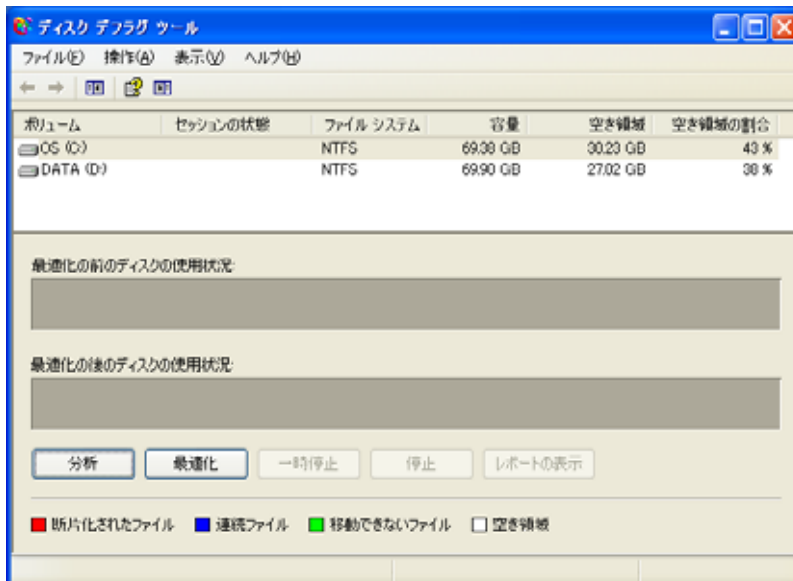


ハードディスクに保存されるファイルはクラスターと呼ばれる複数の領域に分けて保存されます。パソコンを長く使っていると、ファイルが左図のようにHDD内にバラバラの場所に保存される『断片化』が起きます。これを整理することを『デフラグ』と言って読み書きを高速化することができます。

このデフラグは、あまり頻繁に実行すると、ハードディスクのメカニズムが激しく動作し負担が大きくなるのでパソコンの使い方にもよりますが年に1度程度でいいでしょう。しかし長期間デフラグをしないと、知らない間にパソコンの動作は遅くなります。また、このデフラグの作業は大変長い時間がかかりますので実施する時にはそのつもりで実行しましょう。

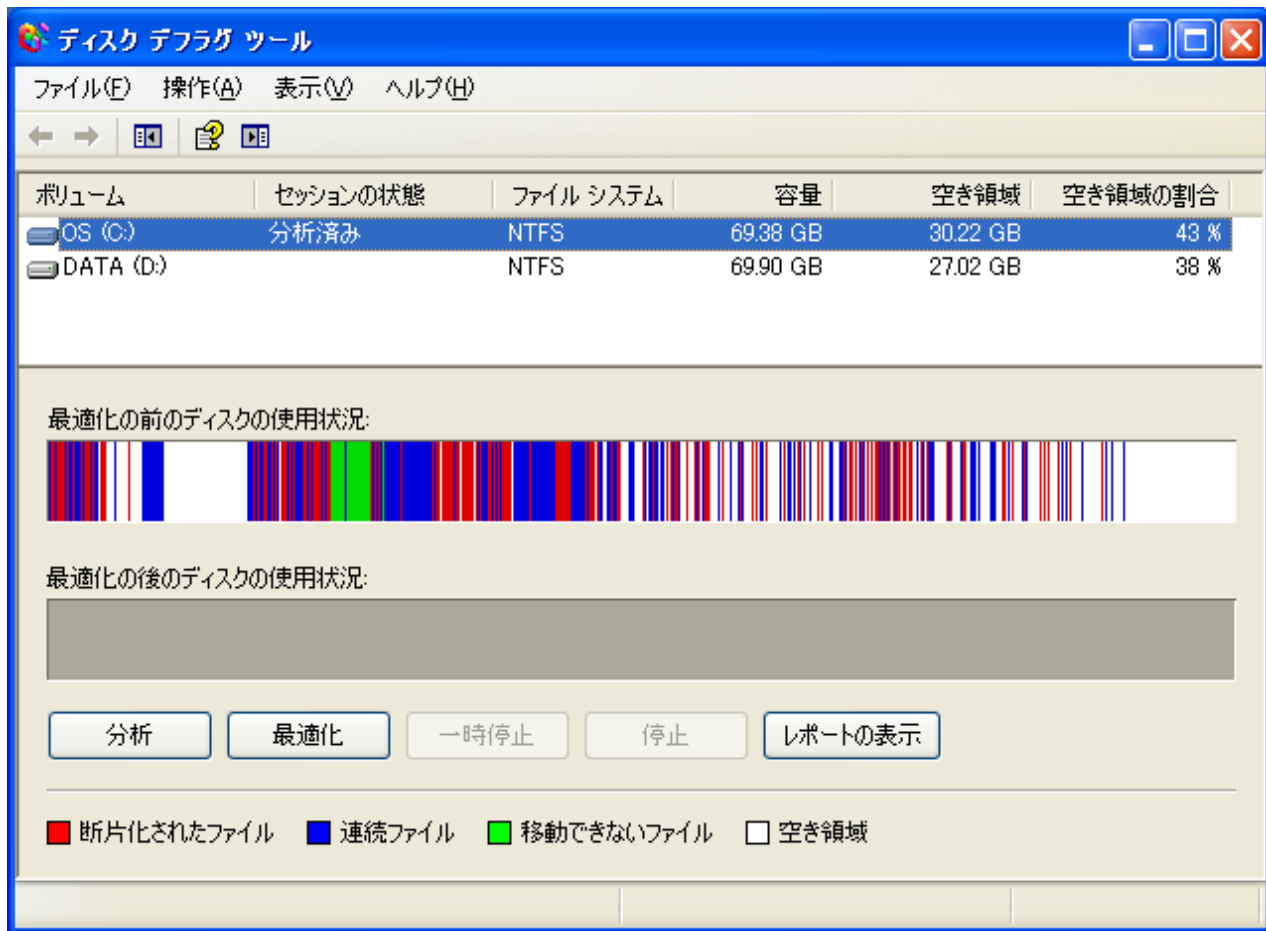
デフラグの実行手順

1. スタート すべてのプログラム アクセサリー システムツール ディスクデフラグ

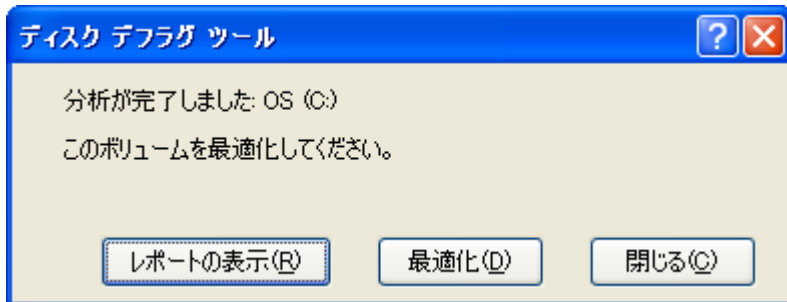


の順に開いてゆくと左図のような画面(ダイアログ)が出てきます。

Cドライブを選択し、次に画面左下の**分析をクリック**しますと断片化がすすんでいる状態では次のようなレポート画面が出てきます。



この画面で**最適化の前のディスクの使用状況**のグラフを見ると断片化がかなり進んでいますので、下図のように**このボリュームを最適化してくださいのメッセージ**にしたがって最適化



をクリックして実行に入ります。

最適化が必要のない状態の時には最適化は必要がありませんのメッセージが出ます。

結果を知りたいければレポートの表示もクリックしておいてください

後はデフラグが終了するまでパソコンに任せて、果報は寝て待てと言います。寝る前に実行するのもいいかもしれません。後は結果のレポートを見ることを楽しみに致しましょう。

以上です。パソコンも手入れが必要ですので、時折メンテナンスをしてやりましょう。

以上